

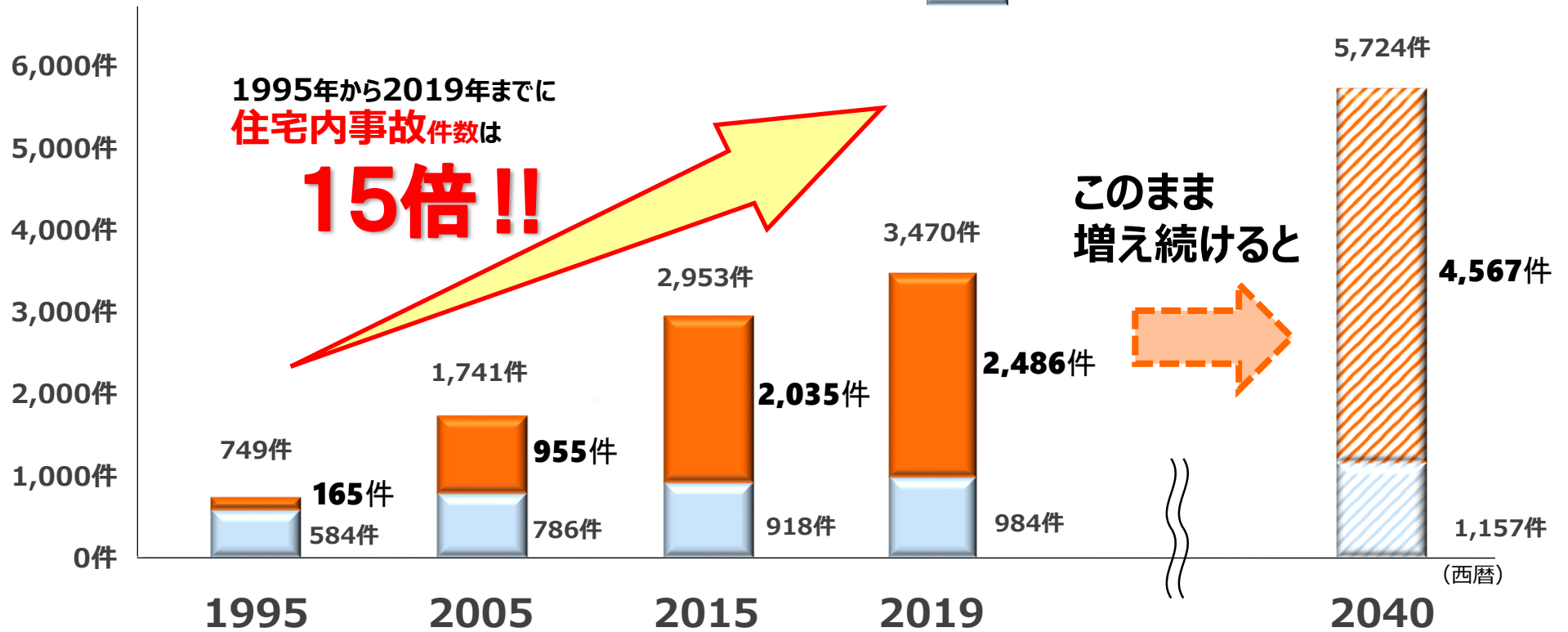
住宅内事故が急増しています。 ご注意ください！！



住宅内事故とは、住宅内で、敷居の段差につまずいて転倒したり、浴室で急な温度変化により倒れたりすることにより、自分でどうすることもできず助けを必要とするものです

救助出場件数の推移

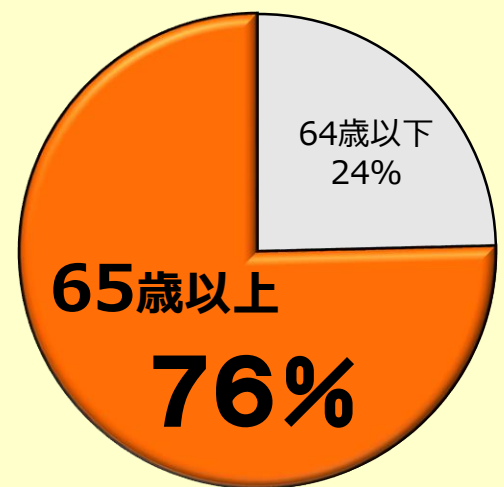
住宅内事故件数
交通事故、水難事故などのその他の救助出場件数



住宅内事故は、

- ◆ 傷病者の大半が65歳以上の高齢者
- ◆ 住宅内事故の多くは 一人住まい
- ◆ 負傷原因の多くが 転倒・転落
その他、居室や浴室内での急病による事故があります。
- ◆ 救急車で搬送された約 7 割の方は 入院が必要

住宅内事故における傷病者(2019年)



住宅内事故の事例

- ◆ 隣の住民が、家の中から助けを求める声を聞いたため、玄関から入ろうとしたが鍵がかかっていたため119番通報をした。消防隊が窓から進入し確認したところ、**ベッドから転落したことにより腰を負傷して動けなくなっている**男性を発見し、病院へ搬送した。(70歳代男性・胸椎圧迫骨折 重症)
- ◆ **浴室内で脳梗塞により意識をなくして倒れている**母親をドア越しに発見したが、扉を開くことができなかったため119番通報をした。消防隊により浴室の扉を開放し、病院へ搬送した。
(70歳代女性・脳梗塞 重症)

こんなところに転倒・転落の危険が潜んでいます

■ 階 段

- ・階段を踏み外す
- ・スリッパをはいて滑る
- ・暗闇でつまづく



予防のポイント

- ・手すりにしっかりつかまる
- ・階段に物を置かない
- ・物を運ぶときは一度にたくさん持たない
- ・廊下に常夜灯を設置する
- ・すべりやすいスリッパや靴下を履かない

■ 浴 室

- ・濡れた床で転倒
- ・浴槽に出入りする時に足がもつれる
- ・脱衣所と浴室の段差につまづく

予防のポイント

- ・浴室に手すりをつける
- ・石けんやシャンプーの使用後はぬめりなど残らないように床をよく流し乾かしておく

■ リビングや寝室

- ・床の上の新聞紙等に足元をとられる
- ・敷居等の段差につまづく
- ・電化製品のコードにつまづく
- ・ベッドから転落する



予防のポイント

- ・床の上に新聞紙等すべりやすい物を置かない
- ・段差に目立つ色彩のテープを貼る
- ・通り道にコードを置かない
- ・ベッドの転落防止柵を使用する

冬の浴室ではこんなことも・・・

暖かい部屋から寒い浴室、寒い浴室から暖かい浴槽への移動により、急激な温度変化を感じ、血圧が大きく変動することで、心筋梗塞や脳梗塞などを引き起こす危険があります。



予防のポイント

- ・飲酒後は入浴を避ける
- ・冬はヒーターやシャワーなどで脱衣所や浴室を暖めておく
- ・湯船から立ち上がる時はゆっくりと

緊急時は迷わず119番！

- ◆ 助けを求める声が聞こえるが、玄関が施錠されていて**家の中に入れない**
- ◆ ポストに**新聞やチラシが溜まっており**、窓越しに家の中を確認すると**人が倒れている様子で**、呼びかけても応答がない



住宅内事故における大阪市消防局の取組み

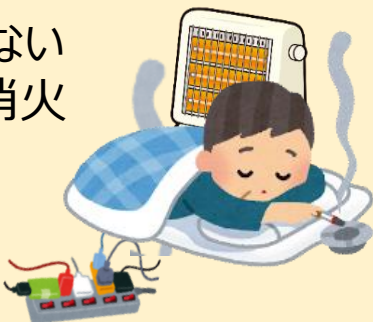
大阪市消防局では、今後も増加が予測される住宅内事故の安全対策として救助隊に加え、住宅内事故に必要な知識や技術、資器材等を装備した消火隊（セーフティネット・レスキュー）を運用し、救助体制の強化を図っています。



火災による死者もほとんどが「住宅」で発生し大半は「高齢者」です

■ 死者が発生した主な火災原因

- ◆ **たばこ**
 - ・寝たばこは絶対しない
 - ・吸殻は水で完全消火
- ◆ **電気配線**
 - ・タコ足配線しない
 - ・ほこりを掃除



- ◆ **ストーブ**
 - ・就寝時は必ず消す
 - ・燃えやすい物から遠ざける
- ◆ **こんろ**
 - ・目を離さない
 - ・こんろ周囲を整理整頓
 - ・衣服への着火に注意

住宅用火災警報器

早期発見で逃げ遅れを防止

ひもを引くか
ボタンを
押して確認



定期的に**点検**し、電池切れ故障の場合は**交換**を！

【問い合わせ先】

住宅内事故に関すること：大阪市消防局警防部警防課 住宅防火に関すること：大阪市消防局予防部予防課